

安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち



区将来ビジョンとは

区長が区内の基礎自治行政を総合的に推進していく上で、地域としての区のめざすべき将来像、その実現に向けた施策展開の方向性などをとりまとめ、区民の皆さんに明らかにするものです。

めざすべき将来像

「安心のまち、人がつながるまち、明日に誇れるまち」の実現

計画期間

概ね3年とし、2018年度から2022年度末を見据えた上で、2020年度末までの、施策展開の方向性などを示しています。



区将来ビジョン

2018 - 2020

2022

区運営方針

2018

2019

2020

めざすべき将来像（各取組）

安全・安心のまちづくり

災害時の「自助」、「共助」の基本となる地域の自主防災活動を支援するとともに、街頭における犯罪を未然に防ぐための啓発活動を、警察等と連携して取り組むことなどにより、区民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりを進めます。



防災のまちづくり

全区民が災害への備えをし、避難行動できる状態

防犯のまちづくり

全区民が防犯を意識し、街頭における犯罪が起きない環境が整っている状態

人に優しいまちづくり

放置自転車や路上喫煙等をなくし、人に優しく、誰もが安全に通行ができる状態

人と人がつながり、助け合うまちづくり

住み慣れた地域で人と人がつながり合い、支え合うコミュニティ豊かな地域社会の実現を進めるとともに、子育て世代はもとより、性別や年齢に関係なく、多様な生き方・働き方を互いに尊重し、誰もが健康で安心して生活ができる、人がつながり、助け合うまちづくりを進めます。



地域コミュニティの活性化

これまで培われてきた人と人との「つながり」や「きずな」を礎にしなが、若い世代やマンション住民など、より幅広い人と人がつながり、身近な地域の中で生活課題などの解決に取り組む、地域コミュニティが活発な状態

住民主体の自律的な地域運営の実現

多様な活動主体が相互に理解し信頼し合いながら、地域の課題の解消に取り組むなど、住民主体の自律的な地域運営が進められている状態

いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり

（福祉・健康など）

身近なところに福祉の相談窓口があり、気兼ねなく利用できる状態
区民がいきいきと健康で生活することができる状態

（子育て支援など）

母乳・授乳や育児について相談しやすい環境が整い、育児不安が解消され、いきいきと健康に暮らせる状態
保護者が安心して子育てでき、環境に左右されことなく、子どもの可能性が最大限活かされる状態

明日に誇れるまちづくり

三方を川に囲まれ、淀川、大川では水辺に公園が立地するほか、良好な都心アクセス、与謝蕪村、毛馬キョウリ、貴志康一など、区ゆかりの豊かな歴史・文化資源を活かし、活力と魅力溢れるまちづくりを進めるとともに、未来の都島を担う人材育成などにより、明日に誇れるまちづくりを進めます。



魅力あるまちづくり

まちの魅力が高まり、区民が誇りを持ち、住み続けたいと思うとともに、多くの人々が訪れたい、住みたいと思う状態

未来の都島を担う人材育成

経済状況や家庭環境に左右されことなく、すべての子どもの可能性が最大限活かされる状態

区役所力の強化

市政改革プラン2.0に基づき、ニア・イズ・ベターを徹底し、幅広い区民の皆さんのご意見やニーズを的確にとらえ、区の特性や地域実情に即した区政運営を進めます。



区民の声が区政に反映される仕組みづくり

区政に関する情報が区民全体に確実に届けられるとともに、区の特性や地域実情に即した区政が運営される区民主体の自治が実現している状態

総合行政の拠点としての区役所づくり

区役所が、区民に身近な総合行政の拠点として、信頼されている状態

区民が満足・納得できる区役所運営

区役所が、快適で満足できる場所となり、業務運営に区民の視点から納得いただける状態